

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 12 月 22 日 (2022.12.22)

【公開番号】特開 2022-176940 (P2022-176940A)
【公開日】令和 4 年 11 月 30 日 (2022.11.30)
【年通号数】公開公報 (特許) 2022-220
【出願番号】特願 2022-127517 (P2022-127517)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/102 (2014.01)

10

H 0 4 N 19/136 (2014.01)

H 0 4 N 19/159 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/102

H 0 4 N 19/136

H 0 4 N 19/159

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 14 日 (2022.12.14)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビデオデコーダにおいて実行されるビデオ復号の方法であって、前記方法は、
現在ピクチャを含む符号化ビデオビットストリームを受信するステップと、
前記現在ピクチャに含まれる現在ブロックに対して逆量子化を実行するステップと、
前記逆量子化を実行した後に、前記現在ブロックに対して逆変換を実行するステップと

30

、
逆色変換の異なる色成分が同じ変換単位パーティション木を使用して符号化されるという決定に
応答して、前記現在ブロックに対して逆色変換を実行するステップと、
を含む方法。

【請求項 2】

前記逆色変換は、逆適応型色変換 (A C T) であり、前記逆色変換を実行するステップは、色空間変換からの現在ブロックを R G B 形式へと変換する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記逆色変換を実行するステップは、前記逆色変換の 1 つ以上の色成分から定数を減算するステップを含む、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

40

【請求項 4】

前記定数は、入力サンプルのビット深さから 1 を減算する左シフト演算を実行することから導出される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

イントラスライスに D u a l T r e e パーティションが適用されるという決定に
応答して、前記逆色変換がインタースライスにのみ適用され、前記 D u a l T r e e
パーティションは、色成分毎に異なる変換単位パーティションを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項
に記載の方法。

【請求項 6】

所定の条件が満たされるという決定に
応答して、クロスコンポーネント線形モード (C

50

C L M) が前記現在ブロックのクロマユニットに適用されないこと、を更に含む請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記逆色変換は、異なる色成分が同じ符号化単位パーティション木を共有するとき、イントラ符号化ブロックにのみ適用される、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

機器であって、プロセッサとメモリとを含み、前記プロセッサが前記メモリに記憶されたプログラムをロードし実行することにより、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法を実現する機器。

【請求項 9】

コンピュータプログラムであって、ビデオデコーダ内のプロセッサにより実行されると、前記ビデオデコーダに請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法を実行させる、コンピュータプログラム。

【請求項 10】

ビデオエンコーダにおいて実行されるビデオ符号化の方法であって、前記方法は、
色変換の異なる色成分が同じ変換単位パーティション木を使用して符号化されるという
決定にตอบสนองして、現在ブロックに対して色変換を実行するステップと、
前記現在ブロックに対して変換を実行するステップと、
現在ピクチャに含まれる前記現在ブロックに対して量子化を実行するステップと、
前記現在ピクチャを含む符号化ビデオビットストリームを送信するステップと、
を含む方法。

10

20

30

40

50